

# 海士町観光協会 / 海士町ソフトパワー創出推進協議会

## 事業名 ● 島の「新しい公共」を担うソフトパワー創出事業

### 事業実施体制

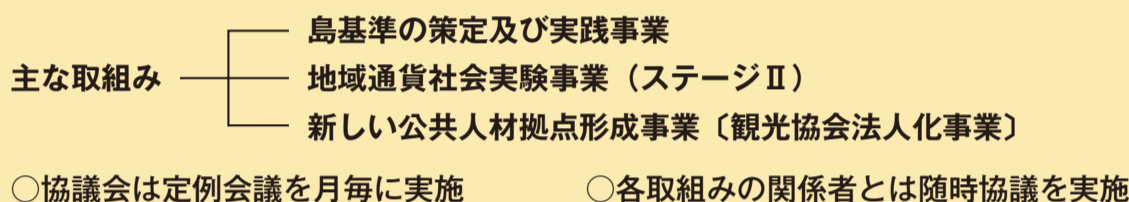
事業実施体制（事業主体、マルチステークホルダーの概要）

#### 海士町ソフトパワー創出推進協議会

構成団体：(株)潮風ファーム、(株)隠岐牛企画、岩ガキ生産(株)、(株)但馬屋  
NPO海士人、隠岐國商工会（ハーン商店街）、海士町など

### 事業概要

『島基準』による島ならではの人材育成を島まるごとで事業展開することにより、多様な当事者の協働と共創環境である「新しい公共の場」を推進するソフトパワーを創出し、高齢化した島内事業者の後継的人材育成を図り、地域の活性化を目指す。



#### 【地域の特殊性（与件）】

日本海上に浮かぶ、人口2400人程度の小さな離島。  
第1・2次産業を中心とする半農半漁のライフスタイルが一般的。

#### 【積み重なる地域課題】

- ・人口の減少
- ・高齢化
- ・若年層の流出
- ・後継者不足
- ・公共事業依存
- ・経済の衰退
- ・地域の危機
- ……

地域の特性を無視したものや、短期的な取組みでは課題解決に至らない！

#### 経済・産業分野の懸案事項（緊急課題）

- ・ポスト公共事業を担う新産業
- ・事業者の高齢化、後継者不足
- ・雇用のミスマッチ
- ・所得、消費低迷（島外流出）

必要な取組み・方向性（理想）

- 観光事業の「産業」化
- 島の経済を支える担い手（多様な現場に対応する労働力や後継的人材）の育成・派遣、通年雇用の実現
- 地域マネーの善循環と消費拡大

- 島内の観光商品・サービスの質的水準の向上  
→多様な事業者間で最低基準の共通化と、協働して改訂・改善していく環境
- 個々の事業者や行政では扱いきれない、ソフトパワー連携と創出を担う強力な人材拠点・中間支援組織の存在
- 経済・社会・環境へ貢献する仕組みづくり

#### 具体的な取組みとして

- ①島基準の策定、②地域マネーの循環、③継続組織体制の構築、が重要となる。

#### 《事業計画の指針》

- 1) 地域における多様な利害関係者が協働・共創して地域課題を解決する環境（=新しい公共の場）を具体的な「仕組み」として作り出す
- 2) 「千里の道も一歩から」……悪循環を善循環に変えていくのは、日々の具体的な小さな成功と相互理解の積み重ねであることを関係当事者で共有する

海士町ソフトパワー創出推進協議会では、「新しい公共」宣言（内閣府）にも謳われているように「すべての人に居場所と出番があり、みなさんが役に立つ喜びを大切にできる社会であるとともに、その中から、さまざまな新しいサービス市場が興り、活発な経済活動が展開され、その果実が社会に適正に戻ってくる事で、人々の生活が潤うという、よい循環の中で発展する社会」を『ひと』が主役となる「新しい観光」の本質として捉え、上記の指針を事業の基軸に据える。

#### 【連絡先】

#### 海士町観光協会

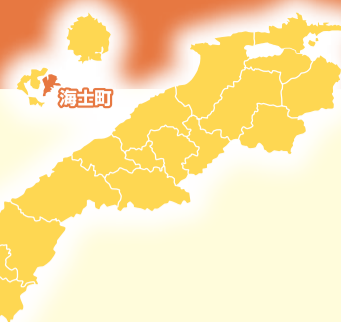
電話 08514-2-0101  
メール info@oki-ama.org  
URL http://www.oki-ama.org/

#### 【連絡先】

#### 海士町ソフトパワー推進協議会事務局

（海士町観光協会内）  
URL http://www.oki-ama.org/harn

ミッキーマウスの活躍に目を奪われず、  
ミッキーマウスが活躍する  
ディズニーランドの仕組みに着目せよ



# 海士町観光協会／海士町ソフトパワー創出推進協議会

## 事業名 ●島の「新しい公共」を担うソフトパワー創出事業

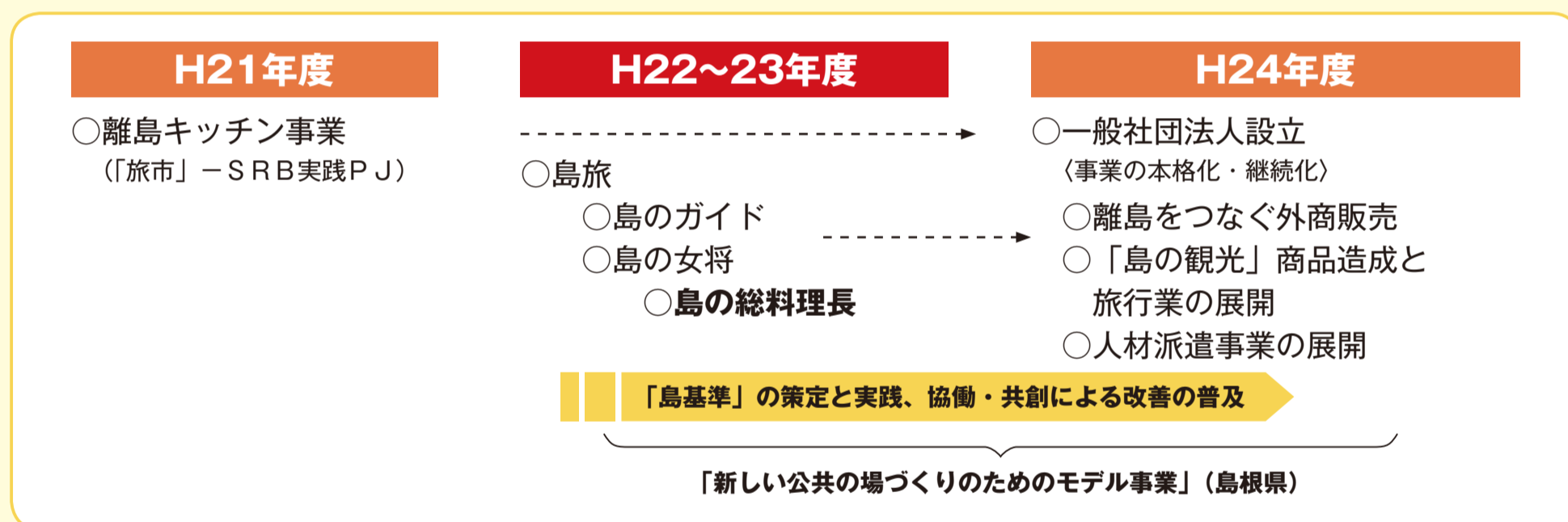
### (1) 「ぼくらの島基準」策定&実践事業

～よりきめ細やかで質の高いおもてなしを目指して～

#### 【事業実施状況】

- 「島基準」の策定及び各種取組み
  - ・観光関連事業者と協働で各種もてなし研修の実施（随時）
  - ・観光関連施設（民間宿泊施設、商品販売店舗等）のスタッフ派遣、マニュアル化
  - ・人材派遣テストケース実施（9月～） ※新規取組み
  - ・観光協会ホームページへの反映 ⇒ <http://oki-ama.org>（9月17日リニューアル）
- 「島の料理長」採用活動の展開
  - 8月～9月 料理長の新規の採用（8月末着任）～9月末都合により離任
  - 10月 料理長の再度の採用

#### 【今後の展開】



### (2) 「地域通貨」社会実験事業

～島ならではのコミュニティファンドの形成に向けて～

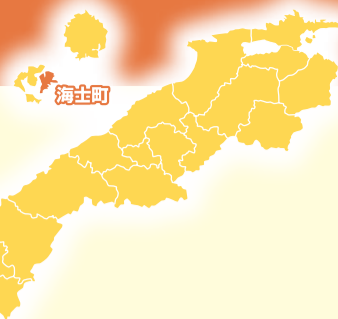
#### 【事業実施状況】

- 地域通貨PJ会議の実施
  - 地域住民・公民館、商工会、観光協会、役場等が協働し、より良い制度設計に向けて理想と現実、実務面で知恵を絞り合う。

日付	会議（中心テーマ）
8月3日	第1回PJ会議「振り返りとステージⅡに向けて」
10月12日	第2回PJ会議「公的通貨として明確な制度設計を」（A案）
10月21日	第3回PJ会議「ハーン＝藩札論と今後の展開」（B案）
12月22日	第4回PJ会議「提案採択と魅力あるハーン制度の協働構築へ」

- 「地域通貨暮らし体験」の実施（1年間、10月～）
  - ⇒ブログ公開 <http://amanodaichan.blog.fc2.com>（10月20日）
  - 【今後の展開】ラフカディオ・ハーン来島120周年を記念したシンポジウムの開催等を予定





# 海士町観光協会 / 海士町ソフトパワー創出推進協議会

## 事業名 ● 島の「新しい公共」を担うソフトパワー創出事業

### (3) 観光協会法人化（人材拠点形成）事業

～ソフトパワー連携と創出を担う強力な中間支援組織の確立～

#### 【概要】

- ・ これからの「新しい公共」や「島の新しい観光」における観光協会が果たすべき使命と役割を捉え直し、相応しい組織形態に変える。
- ・ 収益を地域社会へ再投資する法人類型や制度を採用し、公益的使命の達成と健全な収益体質の構築を目指す。
- ・ 行政の補助に依存したその場限りの投機的な事業や一時的な人の集合体ではなく、継続企業を前提として、地域に根ざした人材・組織づくりを目指す。

#### 【実施状況】

8月～

- 現在の観光協会の各部門において、法人事業を意識した事業編成の見直しや、公益への貢献と採算ラインの確保の見きわめ等、法人設立手続きを踏まえて総合的な取組みを進めている。

### ◎ 「海士町見学」参加者募集

海士町の新戦略、ソフトパワーの本質とは？

“ひと”が主役となる「新しい公共」を体験できる 2泊3日の旅





島根半島から60キロ彼方の日本海に浮かぶ隠岐。なかでもこの海士町には全国から300人もの移住者が集まる元気な島！地元の観光協会の案内で3日間、島に頭をてっぺんからつま先までどっぷりつかるとは。まずはいきなり役場の課長とお茶をまじえてのトーク。観光協会スタッフの案内による散歩とバスの島めぐり。お昼は新鮮な海の幸、夜の交流会では隠岐牛を堪能！つぎの週末は、友達を誘って海士町に上陸してみませんか？



お問い合わせはスタッフまで！お気軽にご連絡ください。

島活で元気チャージの旅

海士町観光協会  
お問い合わせ・申込み  
Tel: 08514-2-0101  
メール: info@oki-ama.org



「海士 AMANA」で検索。  
<http://www.oki-ama.org>

いきいき。

2泊3日、大人の島活



島にもたれる。ココロがうごく。

料金には2泊の宿泊費と滞在期間中の食費・町内のガイド費用・移動費用が含まれます。海士町までの交通費・飲み物代その他の行程外で発生する費用は別途必要です。

○ 現地集合解散 ○ 32,000円(税込) ※見込額  
① 1月13日(金)～15日(日) ※申し込み締切は各旅行日の10日前です。 ※申し込み後状況により一部変更を要する場合があります。  
② 1月27日(金)～29日(日) ※申し込み締切は各旅行日の10日前です。 ※申し込み後状況により一部変更を要する場合があります。  
③ 2月10日(金)～12日(日)  
④ 2月24日(金)～26日(日)  
⑤ 3月9日(金)～11日(日)  
⑥ 3月23日(金)～25日(日)